

学校だより

四日市立八郷小学校発
平成23年9月22日発行

《 No. 14 》

【盛りだくさんの自由参観日】

9月16日（金）の自由参観日は、盛りだくさんの内容で実施しました。授業の様子を見ていただくだけでなく、「後期児童会役員選挙」「PTAの講演会」「5年生の薬物乱用防止教室」「修学旅行説明会」「さるびあ給食」などを設定しました。また、運動会の練習風景も参観していただきました。

《後期児童会役員選挙》

後期児童会役員選挙が行われました。5年生、6年生から15人の子どもたちが立候補してくれました。どの子も「楽しい児童会活動」「人の役に立つ児童会活動」「あいさつや黙働など、自分たちの学校生活をよくする活動」など、自分が役員になったときに取組みたい事柄をしっかりと口調が語ってくれました。

前期の児童会役員は、東日本大震災の支援のために、自分たちのできることとして「ベルマーク収集、テトラパックの回収」に取り組んでくれました。後期児童会役員も、選ばれた6人と4年生以上の学級から選出される代表委員とで、どのような活動に取り組んでくれるか楽しみです。

そして、立候補した人も、自分が選んだ役員でなくても、みんなで役員に協力を惜しまず、八郷小学校をよくしていくために全力で協力していきましょう。



後期児童会役員

5年	内田 泰雅 さん	6年	井野 絵莉菜 さん
	橋川 佳依 さん		松浦 綾香 さん
			坂本 優人 さん
			佐藤 芙海 さん

《PTA講演会》

今年は、関岡 英人さんを講師に招き、「人が輝くきっかけとやる気スイッチの入れ方」と題して、講演をしていただきました。



講師は、人に「気づき」と「やる気」を与え自立型人材育成事業を創業し、様々な企業のコーチングやキャリアカウンセリングの技法を活かした活動を行っています。

参加された保護者からも、たいへんな好評をいただきました。詳しくは、PTAだよりで紹介されることと思います。

《5年生の薬物乱用防止教室》

四日市北ライオンズクラブから4人の方に来ていただき、5年生の子どもたちに指導していただきました。昨年度までは、警察関係の方に指導をしていただいていたのですが、今年度からは委託を受けたライオンズクラブの方の指導になりました。

違法薬物による犯罪は年々増加をしています。また、犯罪の報道は、私たち大人にはよく見聞きすることですが、小学校の子どもたちにとっては、なかなか身近な問題としては考えにくい事柄と思います。

指導していただいたライオンズクラブの方も、その点をたいへん心配していました。しかし、現時点では身近な問題になり得なくても、中学校・高校と成長していたとき、この学習で学んだことを思い出してもらおうことが大切であり、少しでも抑止力になることが大切であると考えています。

裏面に続きます



【三沔社会科作品展・科学作品展】

前回の社会科作品につづき、科学展に本校代表として出品しました作品を紹介します。

1年 なかがわ ひろみ さん 「みんなだいすき！ しゃぼんだま」

姉のまねをして、同じ研究に取組む。「学ぶ」は「真似る」からと言いますが、まさにその教訓どおりです。その上に個性が育つと考えます。

写真を見ていけば、家族全員が協力して、妹の研究を手伝っているようです。本人の考えを尊重しながら進めていることは、まとめから感じられます

3年 早川 由乃 さん 「ありの行列の研究」

国語の教材から動機を見つけ、自分で確かめる研究です。時間を計り、事実を記録し、そこから生まれる「なぜ」をもう一度調べる。そして、確認する。ありの挿絵と同じようにシンプルな研究ですが、しっかりとしたまとめになっています。

3年 つじ村 さ知 さん 「せみの研究 ～せみのくらしと羽化のかんさつ～」

観察の緻密さ、記録の細かさに感心させられる作品です。また、対象がせみですが、まるで人間と同じような雰囲気や記述しているところに楽しさを感じます。

研究の最後に、調べてわかったことを円形にしたところに再構成しているところが素晴らしいと思います。

5年 長谷川 雄弥 さん 「いろいろな植物を育てよう」

夏休みの期間だけの取組みではなく、3月から研究がスタートしているところに意欲を感じます。一言コメントを読むと研究の楽しさを感じることができますし、対比をさせる写真、こくめいな写真に工夫を見ることができます、

6年 平井 まり乃 さん 「土の中から生まれるミジンコ」

身近にある「不思議」をテーマにしている題名にまず興味を引かれる作品です。

研究は、ひとつひとつの課題をしっかりと調べ上げています。そして、ミジンコの繁殖力を身近な数値にとらえなおしているところにもよさがあらわれています。

6年 一ノ関 秀 さん 「インクの色不思議」

過去何年も「色の変化」にこだわってきた、「こだわり」が自由研究には必要であるということがわかる作品です。また、高価な品物も使うのではなく、日常の生活用品を活用しているところも楽しさを感じます。そして、自由研究として、学習の内容に関連させていくことも大切な要素です。

今回紹介しました、本校を代表して三沔社会科作品展・科学作品展に出品しました作品は、来年度の自由研究の参考にさせていただきたいと考えています。お家でも大切に保管しておいてください。

<第4回 子ども会議>



夏休みから始まった「子ども会議」は、今回4回目を数え、八郷フェスタに向けて子どもたちが企画・運営するイベントが決まってきました。

八郷小では、「自転車レース」「巨大すごろく」の2つ。八郷西小では、「お菓子屋さん」「三輪車レース」の2つに決定しました。

今回の会議では、町づくり委員会や協力していただく、子供会・PTAの前でプレゼンテーションと大人の人から出された問題点について、再度相談する場を持ちました。